

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間： 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立美原総合スポーツセンター	
(2) 施設の設置目的	
市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ (コナミスポーツ株式会社、近鉄ファシリティーズ株式会社)	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日(5年間)	
(6) 主な事業	
- 管理運営に関する業務(利用申込の受付等、堺市スポーツ施設情報システムに関すること、利用料金の収受、プログラムレッスンの実施、トレーニング機器の調達・管理、駐車場管理業務、人員の配置等、施設利用案内等、苦情・要望対応、その他使用料等の徴収) - 施設等の維持管理に関する業務(適正な維持管理、備品等の貸与及び購入、施設・備品等の保守点検業務、施設維持管理業務、施設及び備品の原状変更、現地調査の対応) - 自主事業(スポーツ教室の企画及び実施・その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業・センターへのアクセス及び利便性の向上を図る目的から指定管理者が提案し行うスポーツ振興業務) - その他の業務(緊急時等への対応、施設内の目的に適したスペースの活用、統計資料等の作成、関係機関との連絡調整、堺市のスポーツ推進施策への協力、指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ、業務に必要な規則・マニュアル等の作成、堺市との協議)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
羽曳野市立総合スポーツセンター(はびきのコロセアム)、堺市立美原体育館、堺市美原B&G海洋センター	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	オーパス施設情報システム等により、特定の団体や個人に偏りがないよう管理運営を行い、年2回の自主防災訓練の実施、全従業員の心肺蘇生法(CPR&AED)ライセンス取得を行った。個人情報保護については、個人情報に関する理解度確認テストを定期的に行うなど、適正な管理に向けた取組を行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	各時間適正人数を配置し、安全研修・接客研修・トレーニング研修・人権研修・防災訓練などを計画に基づき実施。施設維持管理においても、構成企業の近鉄ファシリティーズ株式会社と連携し、法定点検及び自主点検を適正に実施。
施設の設置目的に沿った事業の実施	利用者のニーズに応じたプログラム提供を行うにあたり、1～3か月毎に内容を見直す等、地域の方々が登録しやすい取組を継続中。また、利便性の向上として送迎バスを運行し地域の方々に利用していただきやすい環境を提供している。
その他特筆すべき取組	令和4年度は令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの運営となった。光熱水費の高騰や、新型コロナウイルス感染症の影響による月額会員の減少等を受け、市外利用者の月額利用料金の値上げを令和5年1月に実施した。

イ 市による状況分析

・利用者のニーズに応じたプログラムの見直しや、送迎バスの運行等、地域の方々が登録しやすい様取組んでいる。また、様々な研修や心肺蘇生法ライセンス取得等、職員の接客能力の向上や知識の習得により、利用者の安全確保に努めた。

・施設維持管理においても、定期的な点検や、計画的な修繕計画等、構成企業の近鉄ファシリティーズと綿密に連携することで、安心・安全な施設運営につながった。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理者名	コナミスポーツ・近鉄ビルサービスグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ
利用者数(単位:人)	229,894	167,752	156,909	187,673	—
稼働率(単位:%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	—
利用者満足度(単位:%)	88.0	82.8	80.9	80.6	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、月額利用者登録キャンペーンを実施し、利用者数拡大をはかった。また、新人接客遭遇研修・顧客対応研修を通じサービス向上をはかった。
意見・苦情・要望等への対応	・施設・備品の劣化に対する利用者からの声への対応について、修繕などを早期に実施し、安全に利用できる環境を整えた。 ・喫煙場所をグラウンド付近の1ヶ所とし、受動喫煙対策を実施した。
その他特筆すべき取組	令和4年度は令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施しながらの運営となった。光熱水費の高騰や、新型コロナウイルス感染症の影響による月額会員の減少等を受け、市外の月額利用料金の値上げを令和5年1月に実施した。

ウ 市による状況分析

・利用者数は新型コロナウイルス感染症影響前の水準には戻らなかったものの、利用者のニーズに合わせたプログラムの見直しや、新規利用者獲得の為にキャンペーンの実施等により、利用者数の増加につながった。

・また、接客研修等による職員の接客能力の向上や、施設・備品の早期修繕等により、利用者サービスの向上を図っている。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

指定管理者名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
コナミスポーツ・ 近鉄ビルサー ビスグループ		コナミスポーツ・ 近鉄ファシリ ティーズグルー プ	コナミスポーツ・ 近鉄ファシリ ティーズグルー プ	コナミスポーツ・ 近鉄ファシリ ティーズグルー プ	コナミスポーツ・ 近鉄ファシリ ティーズグルー プ	コナミスポーツ・ 近鉄ファシリ ティーズグルー プ
収入	指定管理料	2,521,519	17,392,224	37,660,815	4,046,296	4,046,296
	利用料金	120,096,916	75,955,582	68,551,560	90,609,630	101,089,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	1,885,919	922,908	2,424,446	7,643,008	6,326,800
合 計		124,504,354	94,270,714	108,636,821	102,298,934	111,462,096
支出	人件費	51,168,441	49,121,704	44,205,966	55,731,067	65,015,000
	委託料	23,533,994	19,393,148	17,241,743	23,412,246	20,482,000
	総支出額に占める 委託料の割合	18.6%	16.2%	14.6%	16.5%	13.1%
	修繕費	2,665,073	2,643,410	3,565,502	4,733,026	4,946,296
	光熱水費	24,511,918	20,138,328	22,766,782	31,754,895	34,000,000
	その他	24,644,101	28,351,479	29,920,091	25,936,490	32,005,000
合 計		126,523,527	119,648,069	117,700,084	141,567,724	156,448,296
収支差額		-2,019,173	-25,377,355	-9,063,263	-39,268,790	-44,986,200
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
収 入	23,163,665	21,011,885	20,836,166	30,515,204	33,984,479
支 出	24,582,910	21,093,736	20,634,977	24,838,076	28,940,536
収支差額	-1,419,245	-81,851	201,189	5,677,128	5,043,943
(市への納付金の額)	0	100,000	100,000	100,000	100,000

イ 取組状況

経費の縮減、経理 事務	電気料金対策として、デマンドを管理する機器により、電気の集中利用を抑える工夫をした。こまめにスイッチのON・OFFの操作を実施。 Webによる利用者拡大のための販売促進を実施し、訴求力を高めた。
----------------	--

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金収入の減少や、人件費、光熱水費の高騰による支出の増加等が影響し、収支が赤字となった。尚、自主事業によるキャンペーンの実施や、Webによる利用者拡大のための販売促進を実施するなど、新規利用者獲得に努めている。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者満足	満足度80%以上	80.6%

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
施設利用者数(前年度比2%増)	160,048人	187,673人
スポーツ教室事業参加者数(前年度比2%増)	12,621人	14,244人

■収支

指標	目標	実績
利用料金収入	前指定期間内の年度平均 比1%増 153,900,000円以上	90,609,630円

イ 市による状況分析

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入の目標は未達となったが、新規獲得のためのキャンペーン実施や、月額登録を解約された方へ復帰を促す取組等を実施することで、利用者数の目標水準を達成した。
- ・利用者ニーズに沿ったプログラムの実施や、接遇研修等による職員の接遇能力の向上、施設・備品の早期の修繕等により、利用者満足度は達成した。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	・新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じつつも、施設利用者数・スポーツ教室事業参加者数は令和3年度比2%増を達成したが、月額利用登録者数はコロナ禍前の水準に回復せず、利用料金収入は目標を下回った。 ・施設維持、メンテナンスについては定められた基準を実施し、快適な環境の維持ができた。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入の目標は未達となったが、様々な研修による職員の資質向上、接客対応力向上等サービス向上に努めた。 ・また、計画的な修繕計画等による利用者の安全確保にも努めた。
今後の取組	・チラシ・ホームページ・Webなどによる販売促進を効率的に実施し、月額利用者を獲得し、利用料金収入の底上げをはかる。 ・省エネにつとめ光熱水費の削減をする。	月額登録を解約された方へ復帰を促す取組や、SNSを活用した新規利用者獲得に向けた取組など、より一層の施設利用促進を図ってみたい。 また、施設、設備の細部の点検を引き続き行い、不具合の早期発見と早期改善に努められたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの

美原総合スポーツセンター 利用率

(単位：％)

施設名	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
美原総合スポーツセンター 多目的グラウンド	平 日	36.8	35.2	26.6	30.7
	土日祝	75.4	78.6	80.8	78.4
	計	50.7	49.6	43.8	45.6
美原総合スポーツセンター テニスコート	平 日	62.1	57.5	54.6	64.0
	土日祝	93.6	85.5	93.1	95.6
	計	71.9	66.0	66.5	73.7